



発行：大野北地区社会福祉協議会
〒252-0233 相模原市中央区
鹿沼台 1-10-20
(大野北まちづくりセンター内)
電話：042-861-4512

子育て世代の交流の場

「親子スペースたけのこの家」

大野北地区は、新しいマンションや住宅が増え若い世代の方が多く転入してきています。特に乳幼児を抱える人たちは、親戚や友人からも離れ、また産院や近所でも、コロナにより交流の場が少なくなっています。そんな中、安心安全な環境で親同士が楽しくおしゃべりし、くつろげる場所が必要と感じ、「親子スペースたけのこの家」というつどいの場を始めました。

同じようなつどいの場として「あつまれおやこ」がありますが、ここでは保育園の方の協力の下、主に子どもたちを楽しく遊ばせること、同時に子どもの遊ばせ方や一緒に遊ぶことを中心としたつどいになっています。実施していく中でお母さんたちから、もっと話したいとの要望が出され、交流することへの大切さが強く感じられたことから、今回の親同士の交流を主体とした、「親子スペースたけのこの家」を開催することになりました。

子どもが自由に遊べるおもちゃ



今は安心安全がとても大事ですので、おもちゃはもちろんですが、さまざまなところの消毒や時間をおいての換気、検温、人数制限、連絡先の確認など、感染防止対策をしっかり確認しながら行いました。



第1回開催 11月4日
嶽之内自治会館にて



始まるまではどれだけの親子が参加してくれるかドキドキ心配でしたが、19組39名の参加がありました。ほとんどが地区の周辺の方でしたが、初対面にもかかわらず、よくお話をされていて、とても楽しそうでした。また3ヶ月のお子さんは、家とは異なる環境の中でも活発に反応して、次にお会いするときは、きっと首がしっかりしているわね、などと会話が弾んでいました。帰りには連絡先を交換したり、またお会いしましょうと挨拶を交わしていました。お母さんたちの反応もよく、楽しく過ごせた交流の場になりました。

ー交流の場づくりー

コロナ禍の中で思うように活動ができておりませんが、地域の方々の交流の場として、現在「はやぶさカフェ」があります。これは主に高齢者の方々が、日頃お互いに話合う場が無いことや相談する人がいないなどの思いを、少しでもつなげることができたらという考えで平成29年4月から始めています。

再開の案内をご覧になりましたら、是非お立ち寄りください。

一方今回の「親子スペースたけのこの家」は、主に乳幼児のお子さんをお持ちの方々への、相談・交流の場づくりとして始めたものです。

ご案内の内容にとらわれず、お気軽にご参加ください。

赤い羽根街頭募金 10月1日

大型で強い台風16号が吹き荒れる中、10時から3時まで延べ32名の民生委員が淵野辺駅改札周辺で街頭募金を呼びかけました。この日、相模原市内の中では唯一の募金活動でした。皆様のご協力で44,637円の募金が集まりました。

また別途民生委員定例会での協力もあり合計64,655円となりました。

ご協力ありがとうございました。



大野北地区社会福祉協議会が後援する地域ボランティアグループの紹介

福祉グループ「輪」

住んで良かったと思える地域づくりをめざして

昭和62年1月に福祉啓発と仲間づくりを目的に誕生したグループです。交流の場として「わいわいサロン」を運営しています。

コロナ禍の中、手指消毒・部屋の換気に気をつけ、マスク着用のもとに活動しています。

お話をしながら小物入れを作ったり、脳トレや体操なども行っています。10月にはパラリンピックで有名になったポッチャを体験しました。

参加した皆さんとおしゃべりができ、楽しいという声を聞くとやりがいがあります。

また令和4年2月には、第36回福祉講座を元ラジオ体操講師の長野信一氏を迎え、体を動かそうという内容を計画しています。

ただいま会員募集中。連絡をお待ちしています。



ポッチャ体験の様子

「ボランティアおおのきた」活動概要

令和3年度会員(男性12名、女性7名)

- 車いすの点検・清掃
「さがみ緑風園」、「誠心園」、「地区社協」等の車いすの点検、清掃を年2回行っています。
- 車いすの取り扱い講習
「地区防災訓練」、「ふれあいフェスタ」、「中学生ボランティアスクール」等での車いすの操作や取り扱いの講習・指導をしています。
- 庭木剪定や庭の手入れ
障がい者・養護施設や、高齢者などの体が不自由な方に向けて行っています。
- 各種施設行事のイベント、園祭の模擬店、車いす介助等のお手伝いをしています。
- 月例会議 於:大野北公民館
毎月第2月曜日、AM9:30

誰でもできることを、できる範囲で会員みんなで力を合わせ、できたこと、感謝されたことを喜びとして、活動しています。



公民館の花壇の前で

「中学生ボランティアスクール」の活動

例年夏に行われていました中学生ボランティアスクールの活動は今年も中止といたしました。その代わりに、この中学生ボランティアスクールのコロナ禍での実施について協力いただいている中学校にアンケートをお願いし、今後の進め方を検討しました。

アンケート結果

- 実施中学校・・・大野北中、共和中、由野台中
- 実施の可否・・・大変意義ある活動、体験に幅のある活動ととらえている。学校での呼びかけは可能。蔓延防止期間は無理。
- 実施時期・・・部活動の兼ね合いがあるので7月後半や8月後半は難しい。8月上旬の実施を希望します。
- 実施期間・・・ワクチン接種等が若年層まで広がるまでは短期の実施で。保育園体験、調理体験などは難しい。車椅子体験や講演を一日で終えるのが良いと思います。
- 学校でのボランティア活動・・・あいさつ運動、リサイクル活動(プルトップ、エコキャップ)、地域美化活動、募金活動(ユニセフ、緑の羽根、赤い羽根)など。

アンケートの結果を受けて

大野北地区社協のこの中学生ボランティアスクールは、地域との交流や幅広い活動体験を実施の基本として、今後も継続して進めていきたいと感じました。



過去の活動写真



車いすの貸出【費用は無料】

貸出期間：約1週間
※事前予約は下記まで
問い合わせ下さい。

